

2019年7月発行：みらいの樹(番外編)



Annual Report 2018

2018年度 年次報告書

発行元:

特定非営利活動法人

地球の友と歩む会/LIFE



事務局長挨拶

この度は本書をお手に取って頂きましてありがとうございます。当会は設立から30年を超え、法人格を取得してからちょうど20周年を迎えました。ひとえにご支援、応援をして下さる皆様のおかげで活動を続けることが出来ました。この場をお借りして御礼を申し上げます。

今まで当会の活動報告は会報誌「みらいの樹」を通じて行ってきました。今年はそれに加えて1年間の活動の集大成や、初めて当会の活動を詳しく知りたいという方向けに本書「年次報告書(みらいの樹番外編)」を作成致しました。

今まで応援して下さっている皆様、久しぶりに当会の活動を知りたくなった方、そして当会を初めて知る方に改めてNGO:地球の友と歩む会/LIFEの活動を本書でお伝えできればと思います。



事務局長：米山 敏裕

役員

(2019年7月現在)

理事長	向當 稔	ホームアイアイと警備機器
理事	米山 敏裕	特定非営利活動法人地球の友と歩む会
理事	藤崎 義宣	日本キリスト教団 久が原教会
理事	岩田 雅子	アール・コンサルティング株式会社
理事	上村 真	富士電機株式会社
理事	鷺見 香子	自然電力株式会社
理事	横山 計三	工学院大学
理事	下山 久光	アイ・シー・ネット株式会社
監事	浜走 弘之	社会福祉法人恵和

支援方針

1 水・緑・人で国際協力

人が生きていく上で重要な水と緑。そして自然と共生する村を運営する人の存在が重要です。そのため水・緑・人を支援分野とし、自然と共生する支援を目標としています。

2 現地の問題は、現地に住む人々が解決する。

日本からの一方的な援助では問題は真の解決を迎えないと私たちは考えています。必ず、問題を解決したい現地NGOまたは行政と必ず協働で支援を実施します。

3 地球の友として、いま私ができることを。

「井戸が足りない！森を復活したい！でも人もお金も足りない！」そんな声を受けて、私たちに出来る国際協力をしたい、という有志が集まりLIFEは設立されました。

目次

02

事務局長挨拶
役員紹介
支援方針

03

沿革
協働実績
組織図
事務局メンバー

04

2018年度
インド事業報告

07

2018年度
インドネシア
事業報告

12

団体・個人からのご協力
ご支援・ご参加の方法

14

会計報告

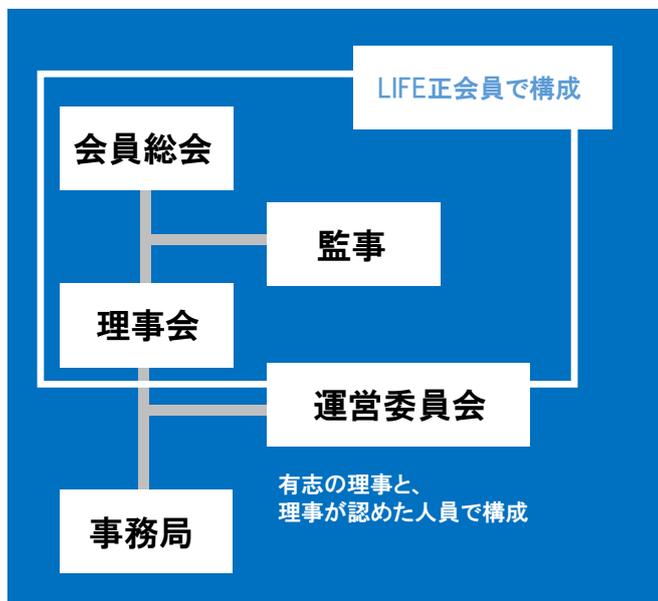
沿革

1986年4月	アジア協会アジア友の会東京事務所として設立
1990年4月	インドにて井戸建設の支援および現地との交流を開始
1992年3月	スンバ島にて植林活動および現地との交流を開始
1999年9月	「地球の友と歩む会」として独立、NPO法人格の取得
2016年4月	設立から30周年を迎える ✓ インドで農業支援をした村人が3,000人を突破 ✓ スンバ島での植林本数が延べ約40万本を突破 ✓ 協働した現地NGO／行政の数が延べ60団体を突破

協働実績 (近年)

2015年4月	外務省日本NGO連携無償資金協力で インド有機農業支援を開始
2016年4月	地球市民財団の協力で インド女性の就労支援を開始
2016年7月	緑の募金の協力で スンバ島でマングローブの植林を開始
2017年4月	労働連合「愛のカンパ」の協力で 東スンバ島の小学生支援の開始
2018年4月	ゆうちょ財団の協力で スンバ島で有機野菜作り研修を開始

組織図



事務局メンバー

(2019年7月現在)

事務局長 / インド担当
米山 敏裕



インドネシア担当
古賀 麻美



経理 / 国内担当
佐藤 静香





LIFEに関するSDGs

有機農業の研修

伝統農業を取り戻し、安心して農業に取り組むために。



現地の声

研修を受けたコタヤム村の男性より

有機農業に切り替えて家計が楽になってきたよ！
これからは色々な種類の野菜を育てて高く売っていきたいと思っています。

水を確保することができず、農業を続けることが難しい人々があります。借金をして農薬や肥料を購入しても返済することが出来ず、自殺する農家のニュースは珍しくありません。無理して購入した農薬を過剰に使用し、土地を痛めてしまい、収穫物が減るといった悪循環に陥っているケースもあります。

かつて行われていた伝統的な農法である、身の回りの自然物を利用した有機農業を復活させることで、無理な借金をせずとも農業で生活ができるようにサポートをしています。また、野菜や果物の種子を自分たちの組合で共同管理し、購入費用を抑える取り組みも行っています。

2018年度：活動結果

- ① 2ヵ村の農家150人に農業研修
- ② 用水路や溜池など井戸などの整備
- ③ 堆肥場の完成や野菜販売所の選定

農村女性の就労支援

村を出なくても、
安心して女性が働ける場所を！



現地の声

研修を受けたメーラカル村の女性より

州政府公認の縫製研修終了証書を取得出来てとても嬉しい。縫製なら出稼ぎでも後ろ指をさされないし、証書のおかげで就職も決まって家計も助かるわ。

雨がまったく降らない乾期では、井戸などの水を確保できない農家は収入を求めて男性が都市部へ出稼ぎ労働へ出かけることは珍しい光景ではありません。

ところが女性が村を出て出稼ぎに行くことを禁じている古い因習のせいで、村に仕事があれば家で夫の帰りを待つほかにありません。因習を無視して出稼ぎに行こうとすると、実の親であっても子供を預かってくれなかったり、絶縁されるケースもあります。

南インドでは縫製が盛んであること、花嫁修業に最適だと年配女性にも認められ、収入を求めて縫製工場で働くための研修支援を実施しています。

2018年度:活動結果

- ① 村の中に縫製工場を設立
- ② 1ヵ村の女性50人に縫製訓練
- ③ 訓練生全員が公的な証書を取得

教育ローン運営支援

村の子供たちに、
高等教育への進学機会を！



現地の声

奨学金で進学した女性より

このローンのおかげで大学まで進学することが出来ました。本当にありがとうございます。利子はとても低いので無理なく返済できています。

インドでは農村でも都市部でも教育への関心が高いです。タミルナドゥ州では中学校への進学率は9割となっていますが、高校、大学となると学費を確保できずに諦めている家庭も多いです。我が子を進学させたいがために、悪徳高利貸しから無理して借金をして返済ができずに自殺するという事件は珍しくありません。

そこで村の中で教育ローンを運営する自治組織(SHG)を作り、子供の高等教育への進学を希望する家庭に、低利子付き奨学金を貸す仕組みを2012年から実施しています。この支援は**二幸建設株式会社**のご寄付を元を実施しています。

2018年度:活動結果

- ① 42名が教育ローンを利用して進学
- ② ローン利用者の返済率100%達成

有機農業の研修



完成したチェックダム



完成した井戸(主に飲料用)8基



完成した貯水池



建設中の野菜種の保管倉庫



完成した育苗場の内部



LIFEの支援を受けた農家のカルマンさん

現地協力NGO:REYDS

2016年から有機農業研修で協力中です。以前から農村女性の就労支援(縫製研修)で協力を続けてきた現地NGOです。有機農業を普及することで農村の貧困を削減することを目的として、この支援は外務省日本NGO連携無償協力の協力で支援を実施しています。



代表
アヤパンさん

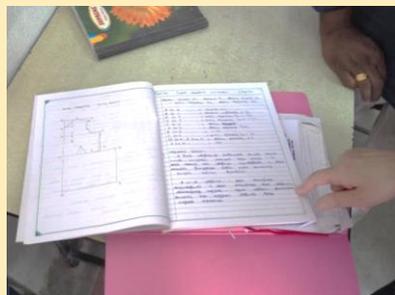
代表
サンレカさん

農村女性の就労支援



現地協力NGO:JSWET

農村女性の就労支援を目的に縫製研修を2016年から行っています。この支援は地球市民財団からの助成金を元を実施しました。



私たちが現地に駐在して、
支援活動を行っています！



事務局長:米山 敏裕

インターン:望月 せりな



LIFEに関するSDGs



有機農業の研修支援

オーガニック野菜作りで 貧困をなくす。



スンバ島東部の農村ではトウモロコシが主食で、3か月ほどしかない雨期の間には収穫したもので1年を過ごします。市場に売るほどの量はなく、また高く取引もされません。家畜は家宝と同じくらい大事な存在で、大金が必要な時以外は売りません。自給自足に近い生活のため、現金が必要となった際に家畜以外に売ることがなく困窮しています。

お金がなくても村のなかで手に入る自然物を利用した野菜作りを教えることで、雨の降らない乾期でも農業ができ、お金を使わずに作物を収穫することが来ます。この支援は**ゆうちょ財団**の協力で実施しました。

現地の声

研修を受けたモンドゥランビ村の男性より

現金収入が出来るのが嬉しい！家畜のフンで野菜が育つなんてビックリしたけど収穫出来て良かった。試行錯誤しながら売れる野菜を今後は作っていきたいと思っています。

2018年度:活動結果

- ① 1ヵ村の農家17人に農業研修
- ② 8種類ほどの野菜を収穫して販売
- ③ 村に共同の給水タンク等の設備が完成

マングローブの植林支援



現地の声

植林とお世話をしている地元住人より

もう何回も植林しています。ゴミが苗木に当たって枯れてしまうのでゴミを拾っています。今では子供たちも自主的にゴミを拾うようになってくれました。

荒野のスンバ島に森の復活を！

かつてスンバ島は香木の白檀が自生していたため、サンダルウッドアイランド(白檀島)と呼ばれていたことを島の人は誇りに思っています。ですが現在は島の90%以上が荒野となり、森は消えつつあります。そのため定期的に^{こうがい}蝗害が発生したり、野鳥の減少なども起きています。海岸に自生するマングローブも生活のための伐採などで減少が進み、マングローブ林が減少してしまっている植林地のカル村。住人や教会学校などの協力で植林を数回実施し、毎日のお世話と盗難防止の見回りなどで苗木が定着して野鳥が戻ってくるようになりました。この支援は**緑の募金**の協力で実施しました。

2018年度:活動結果

- ① 3,500本の苗木を延べ300人が植林
- ② 海岸に渡り鳥が飛来するようになった
- ③ 地元住人の環境保全への意識が定着

小学生の通学バッグ支援



現地の声

通学バッグを受け取った児童より

水に足を突っ込んで川を渡ったり、山道を登ったり下ったりしながら通学するのは大変です。通学バッグがあると荷物をしまえるのでとても嬉しいです。

手づかみで荷物を持ち通学する子供たちをなくす。

片道2時間の荒道を徒歩で通学する光景はスンバ島ではよくあります。朝ごはんを食べずに水汲み労働をしてから通学する子供も多く、授業に集中できない子供や通学を辞めてしまう子供たちもいます。

貧困家庭では、文具や通学バッグを買いそろえることも困難で、手づかみで荷物を持ち通学する子供もいます。東スンバ県教育局からの要請で、東スンバ県の農村部の約120の小学校に通学バッグを全児童分に配付するプロジェクトを実施中です。バッグはジャワ島の貧困世帯の主婦たちが制作しています。

この支援は**連合愛のカンパ**の協力で実施しました。

2018年度:活動結果

- ① 2,000個のバッグを児童に配付
- ② バッグ制作のグループの所得向上

図書館の図書充実支援

本に触れる機会を増やす



現地の声

図書室を利用している子供より

クラスで一番の成績がとれて嬉しい。ここではたくさんの本が読めるので楽しいです。日本の絵本は絵がきれいだし、印刷もしっかりしていてビックリしています。

スンバ島には図書室がある学校はほとんどなく蔵書も少ないです。スンバ島の子供たちの将来の可能性を広げるために現地協力NGOが事務所内に子供向けの図書室を併設しました。東スンバ県には本屋がないため図書を増やすことが困難ということで、2016年から蔵書を増やすべくこれまで他の島の本屋で購入したインドネシア語の本を贈呈していました。

今年からの限定的な取り組みとして日本の絵本にインドネシア語に翻訳した文章を貼り付けてプレゼントを行いました。(出版社には許可済) **きしゃぽん古本募金**からのご寄付をもとにこの支援は実施しています。

2018年度:活動結果

- ① 現地語の本10冊を贈呈
- ② 翻訳した日本の絵本66冊の完成

2018年度ひまわり募金 バナナ復活緊急支援

輸出産業だった、 バナナ農園の復活のために。



現地の声

試験農園の農業技術者の方より

今年の3月に初めてスンバの土に植えました。今のところ順調に育っていて安心しています。時間のかかるプロジェクトなので活動を見守って下さい。

スンバ島では近年までバナナを他の島へ輸出するほど多く、貴重な産業でした。しかし病気にかかり次々と枯れてしまい、壊滅状態となっています。バナナは現地では主食の他に日常におやつとして食されるピサンゴレン(バナナの揚げ)などで親しまれています。ピサンゴレンを売る屋台は珍しくなく、島内でも貴重な現金収入を得られる果物です。

島内に生えているバナナとは別の品種を苗から育てたものを他島から取り寄せ、スンバ島の試験農園で定着させる試みを行いました。数年後、無事に育った場合は株を各地の農園へ配付予定です。

2018年度:活動結果

- ① 121本の苗木をスンバ島へ輸送
- ② 試験農園用の給水設備などの完成
- ③ 試験農園で使用する有機肥料の完成



地元の高校生とマングローブ植林



日本語の選択クラスの高校生とゲーム

日程	場所／交通機関	時間帯	スケジュール	宿泊都市	食事
3/13	デンパサール／－	夕刻	19：00ホテルに集合	デンパサール	夜
3/14	デンパサール→ ワインガップ／ 空路	午前	スンバ島へ移動	ワインガップ	朝/昼/夜
		午後	自由時間・休憩・観光		
3/15	ワインガップ／ チャーター車	午前	マングローブ植林	ワインガップ	朝/昼/夜
		午後	自由時間・休憩・伝統村訪問		
3/16	ワインガップ／ チャーター車	午前	高校で日本語ボランティア・市場散策	ワインガップ	朝/昼/夜
		午後	ホームステイ		
3/17	ワインガップ→ デンパサール／ 空路	午前	ホームステイ	－	朝
		午前	バリ島デンパサール空港へ移動 →13:30頃解散		

※参加費12万4千円(+賛助会費6,000円)

※日程2019年3月13日～17日(バリ島集合・解散)

参加者の声

(ツアー感想抜粋・編集)

20年前のスンバワークキャンプは印象強く、その後の自分の生き方にもつながっていたのでまた行きたいと思った。金や物の援助ではなく、現地の人が続けて担っていきけるやり方の支援を行うのは難しいことだと感じた。短期間の滞在では分からないことも多いですが、それでもいろいろと考えさせられる旅であった。

有機農業の研修



完成した貯水タンク



収穫の様子



研修を受けた村の方

マングローブの植林



代表
ヘンリックさん

現地協力NGO:
ラジオMAXワインガップコミュニティ財団

有機農業研修とマングローブ植林で協力している団体です。教会学校や地元の方と連携して毎日の見回りとお世話をしています。県、軍、警察、学校など、地元住人以外の方にも声をかけて年に数回の植林を実施しています。

通学バッグ支援



配付されたバッグを受け取った子供たち



毎日のお世話でしっかりと根を張ったマングローブ

団体・個人からの ご協力 ご支援・ご参加の方法



ご寄付のご協力

(順不同/敬称略)

- 二幸建設 (株)
- 三菱商事 (株)
- カリッジ・マーケット (株)
- ときわ幼稚園
- 新所沢こひつじ幼稚園
- 白百合学園小学校
- 暁星学園 中・高等部
- 普連土学園宗教委員会
- カトリック吉祥寺教会
- 日本基督教団奥沢教会
- 日本キリスト教会柏木教会

他多数

この他に約300の
団体・個人の方から
ご寄付を賜りました。

リサイクル寄付のご協力

(順不同/敬称略)

- NECグループ
- キッコーマン (株)
- (株) 東芝
- 平塚カトリック教会
- 酒田市ボランティア連絡協議会
- 三井ボランティアネットワーク事業団

他多数

この他に122の
団体・個人方から
ご寄付を賜りました。

リサイクル寄付とは



切手
※未使用・消印付きOK



郵便ハガキ
※古くてもOK



読み終わった本など
※マンガ・専門書などもOK

ボランティアのご協力

企業・団体10社、個人は約100人が
LIFEのボランティアにご参加を頂きました。
誠にありがとうございます。

LIFEでは切手の資金化、ハガキのカウン
ト、封入作業、イベントのお手伝いなどの
ボランティア活動を不定期で募集しており
ます。SNS等でお知らせをしておりますので
ぜひご参加下さい。



日本の古銭や海外のお金
※今は流通してない通貨もOK



記念コイン・メダルなど



貴金属や宝飾品など
※箱などあれば一緒に



宝石や古美術品など

LIFEではこれらを資金化しています!

講演会・課外活動の受け入れ

福島市立松陵中学校さんの修学旅行の訪問先として4名の生徒さんが訪問。LIFEの活動紹介やボランティア活動、民族衣装の体験などを実施しました。LIFEでは講演会や大学の出張講義なども行います。事務局までご相談ください。



◀▲ 訪問の様子
他にも企業大学など、職員が出張講演をしました。

連絡先：life@earth-ngo.jp

件名：講演/講義の相談

担当：佐藤

講演内容（例）

- ・インド活動報告
- ・スンバ島活動報告
- ・文化体験会
(民族衣装・チャイ飲食など)

イベント参加

■グローバルフェスタJAPAN 2018

日時：2018/9/29（土）10～17時

共催：外務省・JICA・JANIC

場所：お台場（シンボルプロムナード公園）

■満点市場

日時：2019/2/9（土）11～15時

主催：東京ボランティア市民活動センター

場所：飯田橋（飯田橋ラムラ1F）

▼▶ ボランティアさん
お手伝いありがとうございました！



活動紹介やチャイなどの飲食、雑貨の販売などを行いました。この他にも広報活動として外部イベントに参加しています。

お買い物で支援する



■カリッジマーケット

アジアン家具の販売店さんです。売上の一部をスンバ島の植林支援としてご寄付を毎年賜っています。楽天などネット通販で購入できます。



公式WEB ▲

カリッジマーケット



足りない栄養素、まる見え！

世界初！

栄養吸収量が数字で見える
自宅で簡単、尿検査キット

■VitaNote（ビタノート）

尿を専用キットで採取しポスト投函するだけで簡単に栄養状況が分かる検査キットです。売上の一部がLIFEへ寄付されます。

きふる ビタノート



専用

ページ ▶



■ 会員総会について

地球の友と歩む会／L I F Eでは、毎年5月下旬の土曜日に会員総会を開催しています。総会では活動報告、会計報告、監事の監査報告、来年度の計画案などについて話し合い、L I F Eの活動を最終決定する場となっています。

総会はL I F Eの社員（正会員）のみ議決に加わることができます。見学はどなたでも可能です。ご興味のある方はお越しください。

■ 会員制度について

NPO法人は、正会員が法律上の社員となり法人を運営する主役です。ぜひアナタもL I F Eの会員となり、L I F Eを支えませんか？ 会費は法人運営のための管理費として活用されます。

会費／種類

特典：

- ✓ ツアー参加
- ✓ イベント割引 など

- 正会員（個人）
年額1口：12,000円
- 正会員（団体）
年額1口：20,000円
- 賛助会員
年額1口：6,000円



2018年度会員総会の様子

活動計算書

2018年 4月 1日 ~ 2019年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員(個人)受取会費	407,000	
正会員(団体)受取会費	40,000	
賛助会員受取会費	282,000	729,000
2. 受取寄付金・助成金		
受取寄付金	4,069,018	
受取助成金	22,157,010	26,226,028
3. 事業収益		
海外交流事業収益	106,000	
国際理解促進事業収益	172,265	278,265
4. その他収益		
受取利息	55	
雑収益	63,923	63,978
経常収益計		27,297,271
II 経常費用		
1. 海外協力・自然環境保全事業費(インド)		
(1)人件費		
給料手当	3,020,432	
人件費計	3,020,432	
(2)その他経費		
教育ローン運営費	501,840	
有機農業研修費	2,688,044	
出張モニタリングその他費用	7,333,831	
その他経費計	10,523,715	13,544,147
2. 海外協力・自然環境保全事業費(インドネシア)		
(1)人件費		
給料手当	1,570,660	
人件費計	1,570,660	
(2)その他経費		
有機野菜研修費	538,633	
植林費用	517,400	
通学バッグ作成配布費	517,078	
出張モニタリング費	546,397	
その他費用	17,542	
その他経費計	2,137,050	3,707,710
3. 海外交流事業費		
(1)人件費		
給料手当	79,280	
人件費計	79,280	
(2)その他経費		
現地費用	134,730	
通信費	59,589	
その他費用	7,931	
その他経費計	202,250	281,530
4. 国際理解促進事業費		
(1)人件費		
給料手当	214,457	
人件費計	214,457	
(2)その他経費		
イベント物品費用	86,049	
原稿・研修受け入れ費用	35,106	
他団体協賛費	33,432	
その他経費計	154,587	369,044
事業費計		17,902,431
5. 管理費		
(1)人件費		
給料手当	1,521,330	
通勤交通費	207,414	
法定福利費	40,921	
人件費計	1,769,665	
(2)その他経費		
金融機関その他手数料	133,712	
広報費用	260,907	
通信費	156,606	
光熱費	84,407	
家賃費用	654,996	
消耗品費	439,016	
研修・書籍資料費	13,220	
支払報酬	214,380	
その他支出	44,304	
その他経費計	2,001,548	
管理費計		3,771,213
経常費用計		21,673,644
当期正味財産増減額		5,623,627
前期繰越正味財産額		8,020,813
次期繰越正味財産額		13,644,440

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況
事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	国際協力事業 (インド)	国際協力事業 (インドネシア)	海外交流 事業	国際理解 促進事業	事業 部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	729,000	729,000
2. 受取寄付金	844,289	2,034,462	0	0	2,878,751	1,190,267	4,069,018
3. 受取助成金等	19,148,017	1,040,000	0	0	20,188,017	1,968,993	22,157,010
4. 事業収益	0	0	106,000	172,265	278,265	0	278,265
5. その他収益	0	0	0	0	0	63,978	63,978
経常収益計	19,992,306	3,074,462	106,000	172,265	23,345,033	3,952,238	27,297,271
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	3,020,432	1,570,660	79,280	214,457	4,884,829	1,728,744	6,613,573
法定福利費	0	0	0	0	0	40,921	40,921
人件費計	3,020,432	1,570,660	79,280	214,457	4,884,829	1,769,665	6,654,494
(2) その他経費							
事業費用	10,523,715	2,137,050	202,250	154,587	13,017,602	0	13,017,602
管理費用	0	0	0	0	0	2,001,548	2,001,548
その他経費計	10,523,715	2,137,050	202,250	154,587	13,017,602	2,001,548	15,019,150
経常費用計	13,544,147	3,707,710	281,530	369,044	17,902,431	3,771,213	21,673,644
当期経常増減額	6,448,159	-633,248	-175,530	-196,779	5,442,602	181,025	5,623,627

3. 使途等が制約された寄付金等
使途等が制約された寄付金等の増減は以下の通りです。
当法人の正味財産は 13,644,440 円ですが下記の通り使途が指定されています。
使途が制約されていない正味財産は 3,600,207 円、使途が制約されている正味財産は 10,044,233 円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
日本NGO連携無償資金協力	4,074,870	21,087,010	15,117,647	10,044,233	
緑の募金	0	540,000	540,000	0	
連合 愛のカンパ	0	500,000	500,000	0	
インド指定寄付	104,013	364,289	468,302	0	
インド教育ローン指定寄付	116,768	480,000	596,768	0	
インドネシア指定寄付	1,053,258	1,980,025	3,033,283	0	
合計	5,348,909	24,951,324	20,256,000	10,044,233	

皆様のご支援で活動が出来たこと、心より御礼を申し上げます。

2018年度 リサイクル寄付の換金結果

未使用の切手

612,404円

使用済み切手

130kg 117,000円

レア/海外切手

3.4kg 6,680円

郵便ハガキ

1,493枚 74,305円

金券など

61,925円

海外コイン・紙幣

16,880円

きしゃぽん古本募金

3,633点 49,437円

貸借対照表

3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	12,734,718	
貯蔵品	336,991	
流動資産合計		13,071,709
2. 固定資産		
敷金	780,790	
固定資産合計		780,790
資産合計		13,852,499
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	178,504	
預り金	29,555	
流動負債合計		208,059
負債合計		208,059
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		8,020,813
当期正味財産増減額		5,623,627
正味財産合計		13,644,440
負債及び正味財産合計		13,852,499

2018年度 キャンペーン募金の集計結果

「夏のひまわり募金」7~9月末

インドネシア

スンバ島バナナ農園支援

80の個人、
団体等がご寄付

665,562円

「クリスマス年末募金」12月~3月末

インドとインドネシア農村支援

230の個人、
団体等がご寄付

1,909,444円

地球と共に、 生きる未来をつくる。



【目標】ビジョン

インドとインドネシアの農村の人々が自然と共生し自立して暮らせる社会を目指します。

【使命】ミッション

私たちとビジョンを共有する現地NGOと協力し、「水・緑・人」をテーマに支援します。

英語名 LIFE
Live with Friends on the Earth
所在地 〒102-0071
東京都千代田区富士見 2-2-2
東京三和ビル503
最寄駅 飯田橋駅（徒歩5分）
TEL 03-3261-7855
FAX 03-3261-9053
E-mail life@earth-ngo.jp
URL <http://earth-ngo.jp/>
銀行口座 ゆうちょ銀行 019支店（ゼロイチキューウ）
00180-9-400590
[当座預金 0400590]
口座名 特定非営利活動法人 地球の友と歩む会

特定非営利活動法人

地球の友と歩む会



@lifetokyo



@life_insta_official



@life.ngo



Accountability
Self-Check 2012

これは、JANICの「アカウンタビリティ・セルフチェック2012」マークです。
JANICのアカウンタビリティ基準の4文や(組織運営・事業実施・会計・情報公開)について問う団体が適切に自己審査したことを示しています。